

平成30年度第3回安城市地域ケア推進会議

日時 平成30年6月21日（木）
午後1時30分～午後2時30分
場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

本日は時間が限られており内容が多いので早速始めます。

2 議題

(1) 平成29年度地域ケア個別会議の集計報告（保健福祉部会）（資料1）
事務局）資料1の通り説明。

- ・個別会議の件数は全体的にはほぼ横ばいである。

質問

無し

(2) 平成30年度地域ケア地区会議について（保健福祉部会）（資料2）
保健福祉部会担当者）資料2の通り説明。

- ・認知症をテーマに挙げる地区が多かったので認知症についての理解を深めたい。
- ・必要なシステム構築のために生活支援コーディネーターと連携を深めたい。
- ・関係機関の協力をお願いしたい。

質疑応答

会長）個別会議から挙げた課題を地区会議で検討するということが良いか。

保健福祉部会担当者）良い。

会長）今後も引き続き地区会議での検討をお願いしたい。

(3) 在宅医療・介護連携推進のための研修会実施報告（資料3）

○訪問看護ネットワーク部会、ケアマネット部会

訪問看護部会）資料3の通り報告。アンケート結果、意見は資料3の通り。

- ・訪問看護側とケアマネージャー側を所属事務所、経験年数別にグループ分けをして意見交換を行った。
- ・訪問看護側（依頼される側）とケアマネージャー側（依頼する側）に立場の違いによるずれがあったが意見交換により修復されたと思う。
- ・訪問看護側は依頼に繋がらなくても相談してほしい、ケアマネージャー側は依頼に繋がらないと相談しにくいという意見であった。
- ・在宅医療の場合は疾患によっては相談が早いほど情報を共有でき共通認識を持ちスタートできるので良いという意見があった。

ケアマネット部会)

- ・顔の見える関係作りのために開催した。
- ・主任ケアマネのファシリテーターを配置できるようにした。
- ・いつもと違うメンバーが参加した。
- ・新人とベテランで意見交換できて良かった。

質疑応答

会長) 経験年数によってグループを作ったというのは色々な年数の人が一つのグループにいたということか。

ケアマネット部会) 訪問看護部会とケアマネット部会で経験年数を加味して、ベテランと新人とをバランスよく配置したグループを作りファシリテーターを一人置いた。

会長) このような焦点を絞るクローズの会も必要であると思う。

住まい部会) 一般市民としての質問。利用者が訪問看護とケアマネージャーに連絡を取らなければならないのか、どこか一か所に連絡を取れば良いのか。ワンストップで進むのか。一般の人にシステムの周知をするべき。

ケアマネット部会) 介護保険を利用している場合はケアマネージャーが訪問診療と連携する。

事務局) スタート時点でケアマネージャーが関わっていればケアマネージャーが全てをコーディネートする。介護保険の認定を受ける前で病院を退院する方はケースワーカーが担う。どちらにも当てはまらない場合は個人で医療機関へ相談する。

住まい部会) 訪問歯科や在宅医療を今後広めていくなら、ケアマネージャーに繋げるシステムを作らなければワンストップにはならない。

事務局) 高齢者の相談窓口は地域包括支援センターである。

住まい部会) 今後パンフレットを改定・作成する時は、ケアマネージャーを決めて情報共有ができるという内容を盛り込むなどした方が活用されると思う。

(4) あいちオレンジタウン構想「認知症に理解の深いまちづくりモデル事業」について (資料4-1、4-2)

事務局) 資料4-1の通り説明。

- ・認知症の人やその家族に優しい地域となるよう事業を進めていきたい。

事務局) 資料4-2の通り説明。

- ・認知症の基本的な知識、介護の仕方、自分の心の在り方を学ぶ講座である。
- ・介護者が講座を受けられるようにケアマネットの定例会で、認知症本人がデイサービス、ショートステイなどのサービスを受けられるような支援を依頼した。
- ・デイサービスなどの事業所に講座日の送迎の時間の配慮をしてもらえないか依頼する。
- ・8月から講座の募集をするが最適と思われる方には声かけをお願いしたい。
- ・「おしゃべりカフェにんにん」の活動が昨年度公益財団法人日本生命財団いきいきシニア顕彰の表彰を受けた。

質疑応答

会長) モデル事業は始まっているのか。

事務局) 今年度にやろうと計画を進めている。

会長) 安城市は愛知県内でも事業が活発なので皆さんご協力を。

連絡事項

○地域支援部会からの提案（見つかるつながるネットワークの運用について）（資料5）

地域支援部会)

- ・ 5月末に行方不明になりかけた人に対しGPSを活用しようとしたが関係者の日中連絡先を確認していなかったため対応に困った。
- ・ 日中の連絡先は、確実に連絡が取れる関係者の携帯を確認しておかないといざという時の対応に困ることを周知しておく必要がある。

意見

高齢福祉課長)

- ・ 貴重な意見をありがとうございます。
- ・ ネットワークを機能させるために家族へ情報提供を求める事は必要であり可能だが、民生委員や町内会への情報提供依頼には準備が必要である。
- ・ ネットワーク導入から3年経ち見直しの時期に来ているので地区会議で協議をしていただいても良いと思う。
- ・ 安城市は認知症についてオレンジプラン等を推進していくので皆さんの意見を聞きながら不具合を直していきたい。

○在宅医療ガイドブックについて（資料6）

事務局) 資料6の通り説明。

- ・ 8月中旬完成予定。
- ・ 9月の市民フォーラム時にはお渡しできるようにしたい。
- ・ ご協力ありがとうございました。

質問

無し

○地域包括ケア市民フォーラム開催時の多目的室の利用について

事務局)

- ・ 施設部会と在宅医療・介護連携サポートセンターからの提案で内容を固めたい（介護の入り口を説明する、介護の悩み相談を受ける）。
- ・ 若干空きができると思うので一緒にやりたい部会があれば事務局まで連絡を。

○在宅医療・介護連携推進のための研修会

- ① テーマ：自立支援を目的としたリハビリテーションの視点を学ぶ～地域ケア会議に呼ばれたとき、お役に立てる療法士を目指して～（訪問リハビリネット部会）

日時：平成30年6月22日（金）午後7時から午後8時30分まで

場所：八千代病院 大会議室 講師：都築 晃 氏

- ② テーマ：エンドオブライフ・ケア研修会（医師会部会）

日時：平成30年7月7日（土）午後1時30分から午後6時まで

場所：医師会館 2階 大会議室 講師：杉浦 真氏

→好評につき定員を超えたため申し込み不可。

- ③ テーマ：地域と事業所と他事業所との連携づくり（施設部会）→（デイネット部会）

日時：平成30年7月13日（金）午後1時30分から

場所：市民会館視聴覚室

次回 平成30年7月19日（木）午後1時30分～3時 社会福祉会館 会議室